

## 次世代ビジネスインテリジェンス (Competitive Intelligence) 基盤としての

## 技術と人情報の見える化

富士通研究所 糸 照宣  
富士通ソフトウェアテクノロジーズ 高梨 益樹

## テーマ

セマンティックWeb技術を適用することで、  
業務システムの再定義を行う。

セマンティックWeb技術のビジネス化。

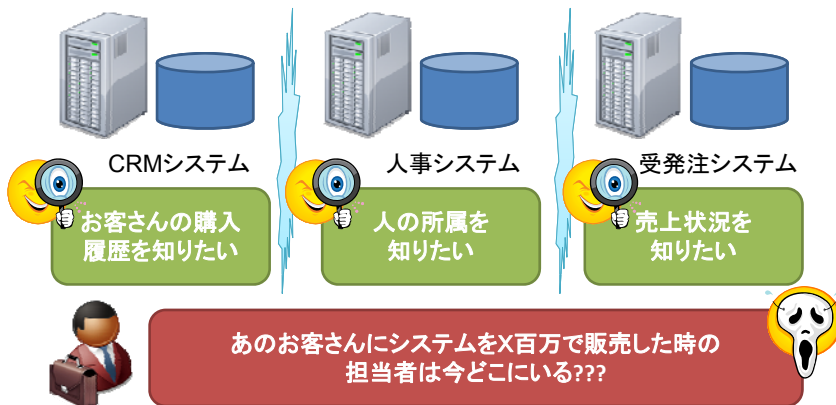
# インターネットツール

目的に応じて、必要なサービスを組み合わせることで、目的の情報を簡単に入手することができる



# 社内ビジネスツール

社内ツールは業務を遂行するために作られたシステムであり、目的以外のことに応用できない



## 社内ビジネスツールの課題

インターネットツールを使えばできることが、社内ビジネスツールではできない原因は？

- 統一されたIDが無い
  - －社内ビジネスツールではシステム毎にバラバラのIDが振られている
- データ間の関連性が不明
  - －社内ビジネスツール間のデータの関連性は人間が判断するしかない



URIの作成とRDFの付与により解決できる

## 試行例

CI (Competitive Intelligence)

企業/組織として必要な、判断・行動のための知識(インテリジェンス)を既存の情報から獲得する。

### 【対象】

下記を目的としたCIダッシュボードの試行

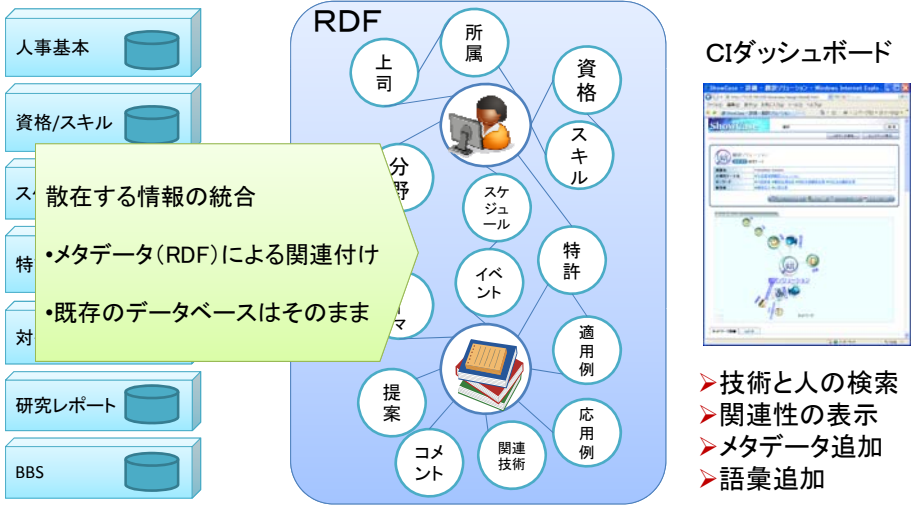
- ・研究活動の見える化(技術と人の関連性の共有)
- ・研究成果の活用範囲の拡大
- ・研究のやり方・質の向上

### 【解決すべき課題】

- ・データ
  - 質/量の問題ではなく、必要な情報は蓄積されているのに、複数のシステムに単一の目的で蓄積されていることが問題。
- ・データ構造
  - 社内ビジネスツールは穴埋め式に作成されているのに、メタデータ化されていないことが問題。

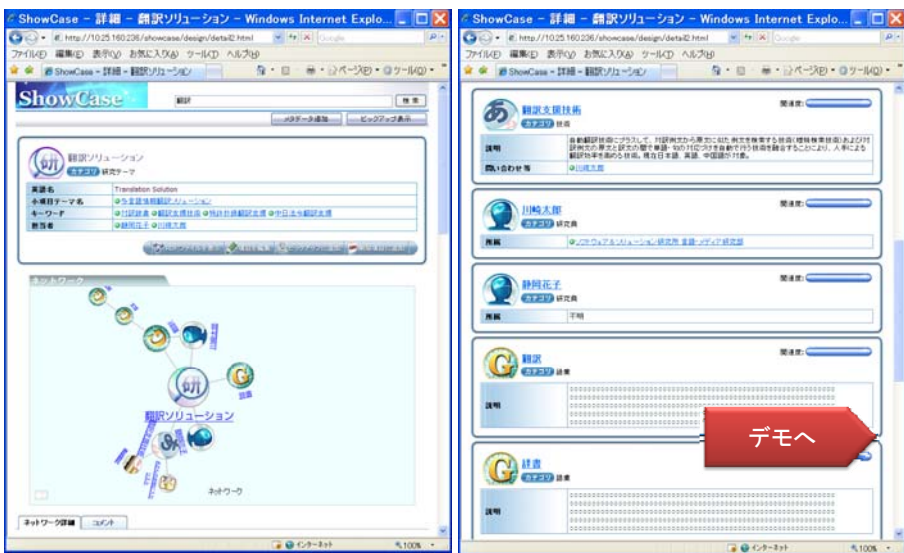
# 試行例 ◆ 構成

## ■ 研究部門向けCIダッシュボード



Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

# 試行例 ◆ CIダッシュボードのUI



Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

## 試行例 ◆ 技術ポイント1

- **知識の蓄積**  
業務プロセスからの自動蓄積
- **企業内データのLinkedData化**  
最小単位でのURI付与（展示会レポート→人物、期間、イベント、技術）
- **RDFの検索**  
社内システムとして必要なサポート、スケールアウトを考慮して入れ物はMySQLを利用し、SQLの上位にRDF検索/解析部品を作成。
- **知識のメンテナンス**  
利用者＝編集者（語彙の追加、メタ情報の追加、コメント）  
マスタ情報の洗い替えエージェント



## 実現例 ◆ 技術ポイント2

- 利用を通して辞書が充実する仕組み

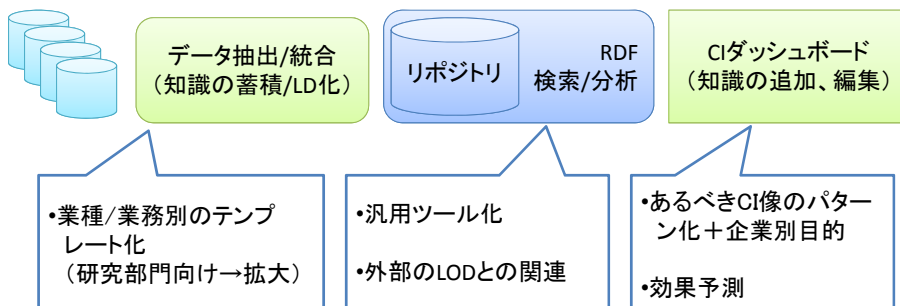


## 今後の拡張予定

- **メタ情報の充実**  
 フォークソミ的な知識編集を普及させる方法。  
 データ洗い替え(組織変更、研究体系変更)の自動化。
- **効果測定方法の確立**  
 どのような指標を見える化するか
- **適用部門の拡大**  
 研究部門→コールセンターなどデータと業務がパターン化  
 可能な業種/業務から
- **リポジトリ**  
 MySQLが最適解か? RDFリポジトリの理想型、SPARQL
- **外部データとの連携**
  - ・企業ユーザに必要な情報(ロコミなど)がLOD化されるか。
  - ・自社の製品情報をLODとして公開できるか。

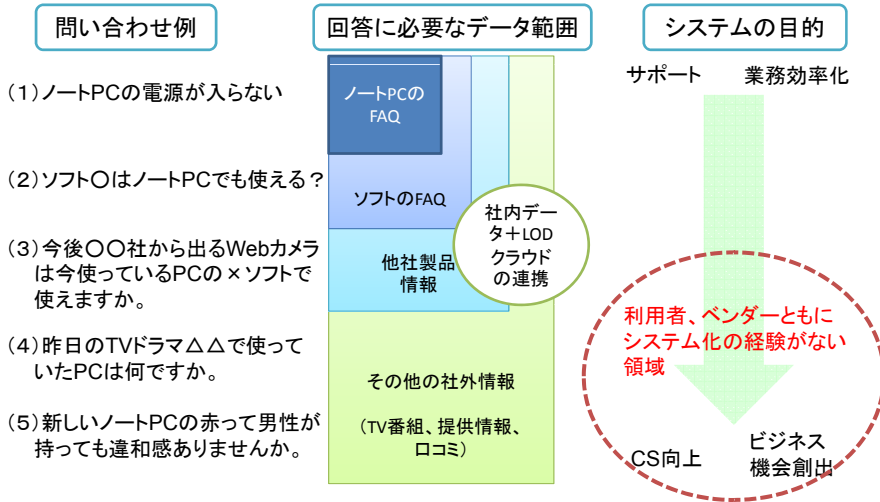
## ビジネス化に向けた取り組み

- **セマンティックWeb市場(Project10X社 2007)**  
 2006年(21億ドル)→2010年(524億ドル)→2015年(5020億ドル)
- **セマンティックWeb、LODの普及**  
 産学共通の普及。セマンティックWebと呼ばないセマンティックWeb。
- **既存の業務システムはそのまま、CIダッシュボードを実現可能にするツール化**



# ビジネスとしての課題

## ■ 製品サポートにおける例



THE POSSIBILITIES ARE INFINITE